

## 基礎知識など学ぶ

群馬建協ら協議会  
が新入社員研修

群馬県内の総合工事業団体、専門工事業団体、建設系高校らが連携する建設産業人材確保・育成に関する協議会（事業管理者、群馬建設業協会）は20日、前橋市の群馬建設会館で2016年度新入社員研修会を開いた。127人がスキルアップに向けて基本的な知識やビジネスマナーなどの講義を受けた。建設業への若い人材の入職を促進するため、アンケート調査も実施した。群馬県建設業協会（青柳剛会長）を始め、東日本建設業保証群馬支店が協力した。

開会に当たり、青柳会長は、熊本地震の災害現場での建設業界の活動に触れ、「地域に貢献する役割を担う一員として活躍されることを心から期待している」とあいさつした。



参加者には「早い時期の研修こそ大事だ。同業他社の人たちとコミュニケーションをしっかりとってほしい」と呼び掛けた。写真。

当日は建設経営サービスの森田哲也コンサルティング事業部課長が「建設業に関する基礎知識〜次世代を担う君たち〜これだけは知ってほしい建設業のこと」、クレスト（東京都台東区）の若松達也代表取締役が「社会人になったら知っておきたい「お金」のお話」、Officeアイム（大阪府中央区）の森川あやこ代表が「スタートダッシュ

ユで差をつける！新入社員のスキルアップセミナー」楽しく学ぶビジネス実務・理解を深め合うチームワークとコミュニケーション」をテーマに講義した。